

市議会議員を体験！ 中学生模擬議会を開催



上越市議会では、子どもたちが実際に議員を体験することにより、「身近な課題や将来の希望」について考え、また、自分たちの意見を表明することを体現する機会とするため、7月15日に清里中学校1年生の皆さんと市議会議場にて模擬議会を開催しました。

生徒はあらかじめ6～7人のグループに分かれて、地域の課題を学びながら質問項目を作成しました。当日は、普段、実際に議員が行うように演壇や質問席から一般質問をし、市長、教育長、部長役の議員が答弁を行いました。

生徒たちが考え、行政役の議員に投げかけた主な質問

- ▷ 上越市の人口減少について、どう対策していますか？
- ▷ 地球温暖化を防ぐためのCO₂排出削減に向けて、市ではどのようなことに取り組んでいますか？
- ▷ お米など上越市の特産品を市外の人たちにも知ってもらうために、どのようにPRしますか？
- ▷ 中山間地域などにもコンビニやスーパーを造った方がいいと思いますが、どう思いますか？



参加された生徒さんと先生のご感想を紹介します

長尾史実さん 人口減少対策に関する質問に対して、「皆さんが企画して活動してみたら、きつと清里が良くなる」という前向きな答弁があり、自分たちでやってみようという気持ち湧いてきて、さらに良いまちになるよう全力を尽くしたいと夢が広がりました。今回の貴重な体験をいかし、活気のあるまちにしたいと思いました。

大久保まほさん 行政役の答弁は「私たちが上越の未来を変えていく」というものが多く、すごくわくわくしました。今までは、どのように上越市のことが決められているか知らなかったけれど、模擬議会を通じて、行政と議員が議会でお互いの意見を深め合っているのが分かりました。

木南蒼空さん 模擬議会ができたことは本当に貴重なことだと思いました。普段、みんなが疑問に感じていることや困っていることを、私たちと議員の皆さんで議論を交わすことができとても良い機会になりました。

新國雄介先生 話合いを通じて、疑問や課題を整理・統合し、論点を絞り込み、実際の質問項目にまとめる過程、そして、実際の議場でそれぞれの役割を果たしながら発表した経験は、大きな財産となりました。生徒たちの問題意識の高さに驚かされましたし、改めて地域を見つめる良い契機となったことに感謝します。

